

石狩管内中体連バスケットボール専門委員会

新型コロナウイルス感染症対応に関わる  
大会開催におけるガイドライン  
(大会運営および会場責任者用)

2020年9月15日 改正

## 【1】本ガイドラインについて

本ガイドラインについては、大会の開催に向けて、大会運営者および会場責任者に推奨する手順となります。ただ、新型コロナウイルス感染症については、現在100%予防する手立てがありません。その特性を理解し、感染を予防する行動を取りながら、できる範囲で活動を再開することとなります。その範囲を本ガイドラインで示し、選手の安全や怪我の防止につなげることを目的とします。また、夏場の大会については、感染症対策と並行して熱中症対策への取り組みを強化する必要もあります。

またこのガイドラインの根拠となる資料については、以下の通りです。これらをもとに石狩管内中体連バスケットボール専門委員会を中心に、独自に作られたガイドラインが本ガイドラインとなります。

- 日本スポーツ協会5月14日通知『スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン』
- 文部科学省5月15日通知『新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等の実施における「学びの保障」の方向性について』
- 文部科学省5月22日通知『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～』
- 日本バスケットボール協会6月8日通知『バスケットボール活動再開に向けたガイドライン』
- 日本バスケットボール協会9月10日通知『バスケットボール活動再開に向けたガイドライン第2版』
- 石狩管内中学校体育連盟6月19日通知『運動系部活動に係わる対外試合・大会等の開催に当たってのガイドライン』
- 北海道バスケットボール協会7月10日通知『バスケットボール活動再開に向けたガイドライン』

## 【2】大会運営者におけるガイドライン

- 生命・健康の安全を最優先とし、感染拡大のリスクを最大限に排除した、選手・チーム、指導者、審判、運営スタッフ、それらの方のご家族等が安全に活動できる環境を提供する。
- 感染症対策はもちろんのこと、熱中症対策にも配慮した大会を開催する。
- 参加チームに対して、感染防止のために選手・スタッフが遵守すべき事項を明確にして事前に連絡し、協力を求める。
- 参加チームのタイムスケジュールを明確にし、会場にいる時間をできる限り減らす方策を提示する。
- 会場責任者をその会場の感染症対策責任者として設置する。また、会場責任者の負担が大きくなるように、各会場の先生方で協力して運営する。
- 事務局で手指の消毒液、手洗い用石けんを準備する。やむを得ず十分な量を準備できない場合は、各会場責任者に協力を求める。

## 【3】会場責任者におけるガイドライン

### 1. 事前の確認について

- 会場設営後に、消毒を行う。
- 控室や廊下などに、感染症対策のポスターなどの掲示物を貼り、周知徹底する。  
(こまめに手洗い・手洗いは30秒以上・ソーシャルディスタンス・マスク着用と熱中症など)
- 入口に手指の消毒液を設置する。入口が混雑しないよう配慮する。
- 控室では、座ってはいけない場所をつくるなど、選手の距離が取れるよう配慮する。
- ゴミ箱を使用できないようにする。
- 総体会場の場合は、利用のきまりに従って運営する。

### 2. 大会開催中について

<全体を通して>

- 会場責任者および運営役員は、手洗いをこまめに施行し、手指の消毒を徹底する。特に別の場所に行く前と後には必ず手洗いをすること。
- 運動時以外はマスクを着用する。
- 選手の体育館への入場などの誘導は顧問が行うが、状況に応じてアナウンスを行い、誘導を促す。
- 会場責任者は、体育館および控室やアップ会場の様子を定期的を確認し、状況把握に努める。必要によっては直接注意を促したり、顧問に報告するなどの措置を取る。
- 体育館の窓は、原則開放するようお願いする。下部にある非常口等の入口については、試合間やハーフタイム時のみ開け、換気の徹底に努める。

### 3. 大会後の対応について

- 大会終了後、速やかに片付けを行い、使用した用具、場所を消毒を行う。
- 消毒に用いたアルコール、石けんなどについては、事務局に返却する。
- 大会後に新型コロナウイルス感染症陽性となった場合には、大会運営者に連絡する。その後、上部機関に報告し、判断を仰ぐ。